

令和2年6月29日（月）

発行 宇城市立 小川小学校

学校目標 （思いやりがあり、自ら学ぶ、たくましい小川っ子）

に向けて 「小川っ子の合言葉」の実践

今回は、「【わ】→自他の理解能力の育成」について学校の取組をお知らせします。

【わ】 わたしから 行動で示す おもいやり 小川っ子

本年度も、日本一「あたたかい学校」を目指しています。6月25日に、新型コロナウイルス感染症対策のためにZoomを使った映像での「心の絆を深める集会」を行いました。今回の集会を通じて、おもいやりの心、感謝の心をさらに深めてもらいたいと思います。以下は、校長講話でお話をした内容です。これをもとに家庭でも話題にしてください。



こんにちは。今日は、いきなりクイズを出してみます。昔から他の動物にできなくて人間だけができると言われていること3つ、考えてみてください。

答えは「言葉を使って心を伝え合うこと」、「火を使うこと」、「微笑むこと」です。

それでは、まず「火」について考えてみましょう。

火で、体を温めたり、おいしい料理を作ったりできます。火は、とても便利だし暮らしも豊かになります。

しかし、使い方を誤ると、大やけどを負ったり、命を落としたりしてしまうものです。言葉も同じです。上手に使えばたいへん便利で、暮らしを豊かにするものです。しかし、嫌なことを言われると心が傷つきます。心の傷は、時間が経てば経つほど深くなる場合があります。そのことをしっかり心に留めて言葉を使って欲しいと思います。これからも言葉を大切にしてもらいたいので、詩を紹介します。

「その一言」 高橋系吾

その一言で 励まされ

その一言で 夢をもち

その一言で 腹が立ち

その一言で がっかりし

その一言で 泣かされる

ほんのわずかな一言が

不思議に 大きな力持つ

ほんの一寸の一言で

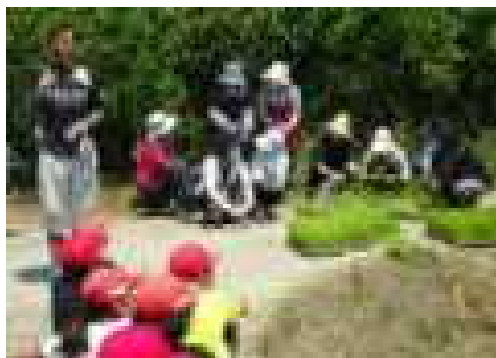
アンケート調査をすると、「からかわれた、いやなことを言われた」という人がたいへん多いです。だから、小川小学校のみんなが言葉を大切に「自分や友だちも大切にできる」笑顔いっぱいの学校、「そう、笑顔は人間にしかできないんですね。」そんなみんなが喜んで来る日本一温かい学校になることを願っています。

朝ボランティアの様子

学校が再開して、朝の会が始まるまでの時間、全学年で朝ボランティアとして運動場の草取りを行っています。この季節、取っても取っても生えてくる草に悪戦苦闘しながらみんなで頑張っているところです。汗をたくさんかきながら、気持ちのいい1日のスタートをきるできています。



田植え 保護者の皆様に感謝



6月23日(火)に5年生が田植えを実施いたしました。5年生保護者の谷口さんを中心に保護者の方々16人ものご協力を賜りながら、藤山さんの田んぼ500㎡をお借りして、うるち米の苗を手で植えることができました。最初は、ぬかるんだ田んぼに足を取られ、悪戦苦闘していましたが、最後はずいぶん手慣れた手つきで、あっ

という間に植えることができました。本年度は、新型コロナウイルスの影響で、できるかどうかずいぶん心配しましたが、しっかり予防策を取りながら実施することができました。本当に、保護者の皆様に感謝申し上げます。

自分で植えた苗です。稲刈りが楽しみです。

プール掃除・プール開きの様子

スポーツ庁からもプール水の残留塩素濃度が適切に管理されていればリスクは低く、授業中や着替えの3密をしないなどの安全を確保すれば実施してもよいとの通知がありましたので、十分注意しながらプールを開始いたしました。子供たちの嬉しくてたまらない笑顔が溢れました。これからも家庭とともに子供さんの健康状況を確認しながら指導してまいります。もし、心配事がありましたら学校まで連絡ください。



【プール掃除5・6年の様子】



【3・4年生】



【1年生】



【2年生】

マスク寄贈していただきました

新型コロナウイルスの広がりですマスクが不足している中、4月に、柏木英喜様、さらに三村様ご家族より、マスクを寄贈していただきました。そして、6月末に、4月に引き続き、柏木英喜様より夏用手作りマスクを寄贈していただきました。早速、全児童と職員に1枚ずつ配布しました。使用前に一度洗ってから使用するようお願いいたします。保護者や地域の皆様の善意に、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんも大切に使用してください。

